



その日の夜、お父さんが
仕事を終えて家に帰ってきて、



おばあちゃんの作品を見て、
懐かしそうにいました。



「母さん、上手く作ったねえ。
昔、母さんが、自分の弁当箱入れの袋や、



上靴入れを縫ってくれたのを思い出したよ」



おばあちゃんは
「へーっ、そんなことがあったかいのう」



といいながら、とてもうれしそうでした。



何回かデイサービスに通うようになって、
おばあちゃんは



デイサービスに行く日を楽しみにし、
朝早くから支度をして



迎えの車を待つようになりました。



そして、デイサービスで作った作品を持ち帰ってみんなに見せ、



通所仲間のことを
話したりするようになりました。



一週間のうち3日は家、4日はデイサービスと、
いいリズムになっています。



薬とデイサービスで
おばあちゃんの様子は輝いています。



デイサービスに通うようになって、
半年が過ぎました。



おばあちゃんはずっかり表情がよくなりました。
もの忘れが相変わらずですが、



近所の人たちに挨拶をするようになり、
お母さんと一緒に食事の準備をしたり、



庭の草取りをし、好きだったお花の世話を
するようになりました。



それまで、ただぼんやりと見ていたテレビも、
特に以前欠かさずみていた



「歌番組」などは熱心に見て、
懐かしい歌を口ずさむようになりました。



ただぼんやりと過ごしていた頃に比べると、
おばあちゃんは



うんと見違えるように明るく、輝いています。



おばあちゃんは今、
食べる、遊ぶを満喫しているようです。